

令和6年度

第1回「危機言語の保存と日琉諸語のプロソディー」合同研究発表会

九州方言における動詞ラ行音節の実現について

－日本語諸方言コーパスに基づいた調査報告－

佐藤久美子（国立国語研究所）

satok@ninjal.ac.jp

動詞ラ行音節の実現

(1) 分らない

a. ワカ**ラ**ナイ

b. ワカ**ン**ナイ

(2) 分かると

a. ワカ**ル**ト

b. ワカ**ッ**ト

-
- ナ行音節の直前で撥音化し、カ行・タ行音節の直前で促音化する。
 - 日本各地に見られる。

上野 (1989)

東北・関東における動詞ラ行音節の実現

- 関東地域 | 大橋 (1974), Sato (2022, 印刷中)
- 宮城 | 田附 (2019)
- 神奈川 | 日野 (1984), 木川・久野 (2012)

- (3) a. 地域の偏り
b. 撥音化と促音化の相関
c. 音環境のバリエーション

東北・関東における促音化・撥音化

(4) a. 地域の偏り

宮城・福島・茨城が中心となり、周辺に広がっている。

b. 撥音化と促音化の相関の有無

強い相関がみられる。（山形が例外か）

c. 音環境のバリエーション

促音：_t, _k, _d, _g / _h<山形>, _w <千葉>

撥音：_m, _n / _k <神奈川>, _j <千葉>

九州方言における動詞末[ru]の実現

- (5) a. イマワ ハルヨシイ ナットー。 【福岡 40_f_002_253150】
今は 春吉に なっている
- b. マダ ショテノ トコレ オツ。 【佐賀 41_c_099,6140】
まだ もとの 所に いる
- c. ワタシ オボエチョン。 【大分 44_c_020,10990】
私[は] 覚えている
- d. マー ソニン イユ ヒトモ オイ。 【鹿児島 46_b_099,56000】
まあ そんなに 言う 人も いる

発表の目的

九州方言を対象として、動詞末[ru]の実現の実態を報告し、今後の研究課題を述べる。

(6) a. 地域の偏り

有無（数量）の偏り

b. バリエーション

実現のバリエーション

音環境のバリエーション

発表の構成

1. はじめに
2. 研究方法
- 3. 結果**
4. 分析（先行研究）
5. 今後の研究課題

1. はじめに

2. 研究方法

3. 結果

4. 分析

5. 今後の研究課題

データ | COJADS

■ 収録

- 1977年～1985年

■ 話者

- 60代～80代の男女（収録当時）

■ ジャンル

- 自然談話（2名以上）

- 場面設定（2名）

- 語り（1名）

データ | COJADS ver. 2024.03

県	地点	時間	ジャンル
福岡	北九州市 福岡市	4:14:01	
佐賀	佐賀市	0:20:58	
長崎	平戸市	0:24:36	
熊本	熊本市 球磨郡錦町	5:00:48	自然談話
大分	宇佐市 大分郡挾間町	6:58:18	
宮崎	宮崎市	0:22:39	
鹿児島	揖宿郡穎娃町	0:34:37	

調査対象

	標準語	茨城県高萩市方言
言い切りの形	起き ル	起き ル
助詞が続く形	起き ル と	起き ッ と
	起き ル の	起き ン の
	起き ル よ	起き ル よ
名詞が続く形	起き ル とき	起き ッ とき ^ㇿ
	起き ル ものな	起き ン もんな
	起き ル わけ	起き ル わけ ^ㇿ

データ抽出 | 検索条件式 (福岡の例)

言い切りの形	キー: (品詞 LIKE "動詞%" AND 活用形 LIKE "終止形%") AND 後方共起: 書字形出現形="。" ON 1 WORDS FROM キー IN 県="福岡"
助詞が続く形	キー: (品詞 LIKE "動詞%" AND 活用形 LIKE "終止形%") AND 後方共起: 品詞 LIKE "助詞%" ON 1 WORDS FROM キー IN 県="福岡"
名詞が続く形	キー: (品詞 LIKE "動詞%" AND 活用形 LIKE "連体形%") AND 後方共起: 品詞 LIKE "名詞%" ON 1 WORDS FROM キー IN 県="福岡"

対象外

- 丁寧さ
- 発話スピード

1. はじめに
2. 研究方法

3. **結果**

4. 分析
5. 今後の研究課題

データ整理の基準

標準語の動詞末[ru]が各方言でどう実現しているか。

- 実現のバリエーション
- 音環境のバリエーション

実現のバリエーション | 言い切りの形

	合計	ru	Q	N	j	R	Zero
福岡	91	83	0	0	0	8	0
佐賀	19	0	18	0	0	0	1
長崎	1	1	0	0	0	0	0
熊本	78	69	4	0	0	3	2
大分	153	146	0	6	0	2	0
宮崎	5	4	1	0	0	0	0
鹿児島	2	0	0	0	1	1	0

実現のバリエーション | 言い切りの形

■ **ru**: 福岡・長崎・熊本・大分・宮崎
(R) (Q, R) (N, R) (Q)

■ **Q**: 佐賀

■ **j~R**: 鹿児島

- 佐賀と鹿児島には**ru**が現れていない。
- 大分にのみ**N**が現れている。
- 鹿児島にのみ**j**が現れている。

実現のバリエーション | 助詞が続く形

	合計	ru	Q	N	j	R	Zero
福岡	285	260	5	1	0	19	0
佐賀	45	0	39	1	5	0	0
長崎	23	21	2	0	0	0	0
熊本	328	144	175	7	1	1	0
大分	597	553	9	30	0	5	0
宮崎	34	28	3	3	0	0	0
鹿児島	25	0	18	1	6	0	0

実現のバリエーション | 助詞が続く形

- **ru**: 福岡・長崎・大分・宮崎
- **Q~N~j**: 佐賀
- **ru~Q**: 熊本
- **Q~j**: 鹿児島

実現のバリエーション | 名詞が続く形

	合計	ru	Q	N	j	R	Zero
福岡	120	111	0	0	0	9	0
佐賀	25	0	13	12	0	0	0
長崎	30	29	1	0	0	0	0
熊本	232	147	77	3	3	2	0
大分	232	249	0	2	0	1	0
宮崎	17	10	7	0	0	0	0
鹿児島	0	0	13	0	8	0	0

名詞が続く形

- **ru**: 福岡・長崎・大分
- **Q~N**: 佐賀
- **ru~Q**: 熊本
- **ru~Q**: 宮崎
- **Q~j**: 鹿児島

交替の有無と音環境

	ru		Q		N		j		R	
福岡	454	全て	5	t	1	n	0		36	t,k,b,m,n,#
佐賀	0		70	右以外	13	m, n	5	j	0	
長崎	51	全て	3	t, m	0		0		0	
熊本	360	全て	256	m,t,k,z,n,j,#	10	m, n, h	4	g	6	m, k, #
大分	872	全て	9	t, k	38	t, d, k, g, z, w, V, #	0		9	t, k, z, #
宮崎	42	全て	11	t, s, z, #	3	n	0		0	
鹿児島	0		31	t,d,k,z,m	1	n	15	b,t,k,η,s,w,#	1	#

交替の有無について

- 福岡、長崎、大分：ほとんどru、音交替がほぼ見られない。
 - 熊本、宮崎：ru~Qの交替が顕著に見られる。
 - 佐賀：Q~N~jの交替が顕著に見られる。
 - 鹿児島：Q~jの交替が顕著に見られる。
-
- 北部にru
 - 西部にQ

福岡・大分について

- 福岡、長崎、大分：ほとんどru, 音交替がほぼ見られない。
 - **福岡**：言い切りの形にRが現れる。
ほぼ助動詞に限定されている。
33例が助動詞、3例が動詞（内2例が「ゴザル」）
 - **大分**：言い切りの形にNが現れる。
助動詞に限定されていない。
20例が補助動詞、18例が本動詞

交替の音環境について

- 佐賀：Q～N～jが相補分布している。
N/_m, n j/_j その他の環境でQ
- 熊本：ru～Qの交替が顕著に見られる。
Q/_t の傾向が強い。

	_t
ru	20
Q	231

交替の音環境について

- 鹿児島：Q～jの交替が顕著に見られる。

Q/_t, d, k, z, m

j/_b, t, k, η, s, w, #

(N/_n)

1. はじめに
2. 研究方法
3. 結果

4. **分析**（先行研究）

5. 今後の研究課題

基底形と派生規則

ruが出現しない方言

- 佐賀県佐賀市方言
- 鹿児島県頴娃町方言

先行研究

- 佐賀方言：早田 (1998)
- 鹿児島県頴娃町方言：柴田 (1959)

佐賀 | 早田 (1998)のデータ (一部抜粋)

	言切の形	禁止形	～時
見る	mi?	minna	mittoki
起きる	oki?	okinna	okittoki
取る	to?	tonna	tottoki
書く	kaku	kakuna	kakutoki
飛ぶ	tobu	tobuna	tobutoki

佐賀 | 早田 (1998)の分析

動詞未完了連体接辞の基底形

子音[ʔ]（および逆行同化による他の子音）～ 母音[u]

[1] /ʔ/, /ʔ/ → u 棄却

[2] /u/, /u/ → ʔ 棄却

[3] /xu/

- 語幹モーラ数が動詞の音節数になる
- 子音語幹に続くとき /x/ が消える、母音語幹に続くとき /u/ が消える

tob + xu → tobu, oki + xu → okix

佐賀 | 早田 (1998)の分析

[3] /xu/

- 子音語幹に続くとき/x/が消える、母音語幹に続くとき/u/が消える

① tob + xu → tobu → [tobu]

② tor + xu → toru → tor → [toʔ]等 ▶ 問題になる

③ oki + xu → (okixu → okix) → [okiʔ]等

[4] /ru/

- 子音語幹に続くとき/r/が消える、動詞末のrに続くとき/u/が消える

②' tor + ru → toru → tor → [toʔ]等 ▶ 問題になる

③' oki + ru → (okiru → okir) → [okiʔ]等

鹿児島県頴娃町 | 柴田 (1959)のデータ

J

niJ 「煮る」 nijme 「煮るまい」 nijnara 「煮るなら」

nijga 「煮るか」 nijmos 「煮ます」 nijdas 「煮ることができる」

Q

niQ 「煮て」 niQtoQ 「煮る時」 niQtonajoga 「煮るのがいい」

niQtamoi niQdo 「煮るぞ」

鹿児島県頴娃町 | 柴田 (1959)のデータ

	終止形	中止形	完了形
煮る	niJ	niQ	ni
取る	toJ	toQ	toQ
聞く	kiQ	kiQ	ki
汲む	kuN	kuN	kuN
貸す	kas	kaQ	ka/kase

鹿児島県頴娃町 | COJADSのデータ

jの出現環境

- アイ バツナ 「あるけどね」
- カガイ カ 「かかるか」
- ノッチョイカ° 「乗っているから」
- ナク° イ チュモ 「投げると言っても」

- アイ コチャ 「あることは」
- イギッチョイ シナ 「生きている人には」
- ナク° イ トシ 「投げる年」
- オイ ワゲナ 「いるわけだ」

鹿児島県頴娃町 | COJADSのデータ

Qの出現環境（_t, d, zがほとんど）

- オボエチョツド 「覚えているよ」
- オット 「いるよ」
- ナツヂェナ 「なるからね」
- オットコ 「あるところ」
- ハシツ ムンヂャッタトヨ 「走るものだったよ」

鹿児島県頴娃町 | 柴田 (1959)のデータ

J

niJ 「煮る」 nijme 「煮るまい」 nijnara 「煮るなら」

nijga 「煮るか」 nijmos 「煮ます」 nijdas 「煮ることができる」

Q

niQ 「煮て」 niQtoQ 「煮る時」 niQtoŋajoga 「煮るのがいい」

niQtamoi niQdo 「煮るぞ」

1. はじめに
2. 研究方法
3. 結果
4. 分析（先行研究）
5. **今後の研究課題**

参照文献

上野善道（編）（1989）『日本方言音韻総覧』東京：小学館.

大橋勝男（1974）『関東地方域の方言についての方言地理学的研究 第一巻』東京：桜風社.

木川行央・久野マリ子（2012）「神奈川県小田原市方言におけるラ行音の撥音化」Scientific Approaches to Language 11: 89-101.

佐藤久美子（2022）「関東・東北方言における動詞ラ行音節の撥音化と促音化－COJADSデータより－」言語資源ワークショップ, ポスター発表.

佐藤久美子（印刷中）「関東・東北地域における動詞ラ行音節の撥音化と促音化の実態-日本語諸方言コーパス(COJADS)のデータより-」『国立国語研究所論集』27

柴田武（1959）「鹿児島県 揖宿郡穎娃町」『日本方言の記述的研究』東京：明治書院.

田附敏尚（2019）「動詞におけるラ行音の撥音化・促音化現象」東北大学方言研究センター（編）『生活を伝える方言会話—宮城県気仙沼市・名取市方言—分析編』3-23. 東京：ひつじ書房.

早田輝洋（1998）「佐賀方言の動詞未完了連体接辞の基底形」『九大言語学研究室報告』19, 1-4

日野資純（1984）「神奈川県の方言」飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一（編）（1984）『講座方言学 5—関東地方の方言—』273-302. 東京：国書刊行会.

謝辞

本発表は以下のプロジェクト並びにJSPS科研費の助成を受けています。

■国立国語研究所基幹型共同研究プロジェクト

「消滅危機言語の保存研究」

「日本・琉球語諸方言におけるイントネーションの多様性解明のための
実証的研究」

■JSPS科研費

21H04351（代表：木部暢子）

ご清聴ありがとうございました。